

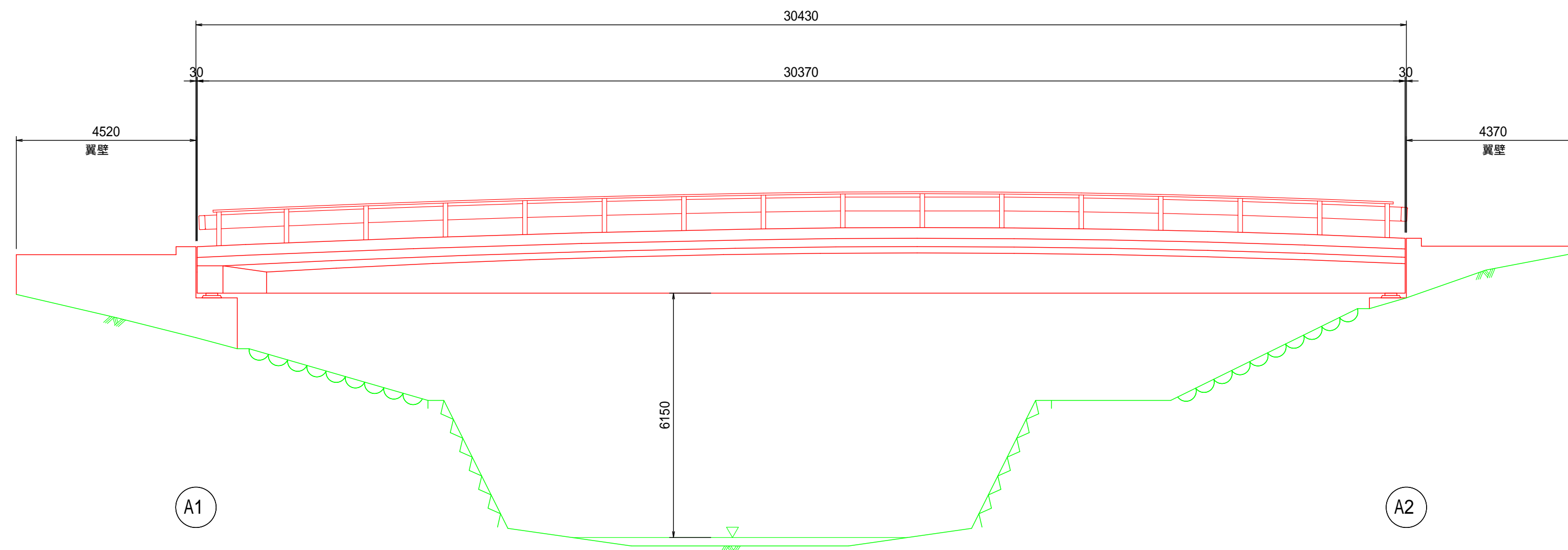
図面番号	1/4	縮尺	図示
工事名	鳴谷橋2補修工事		
種別	鳴谷橋2一般図	番号	/
路線名	市道芦田川右岸線		
工事箇所	府中市栗柄町		
広島県府中市			

# 鳴谷橋2 一般図

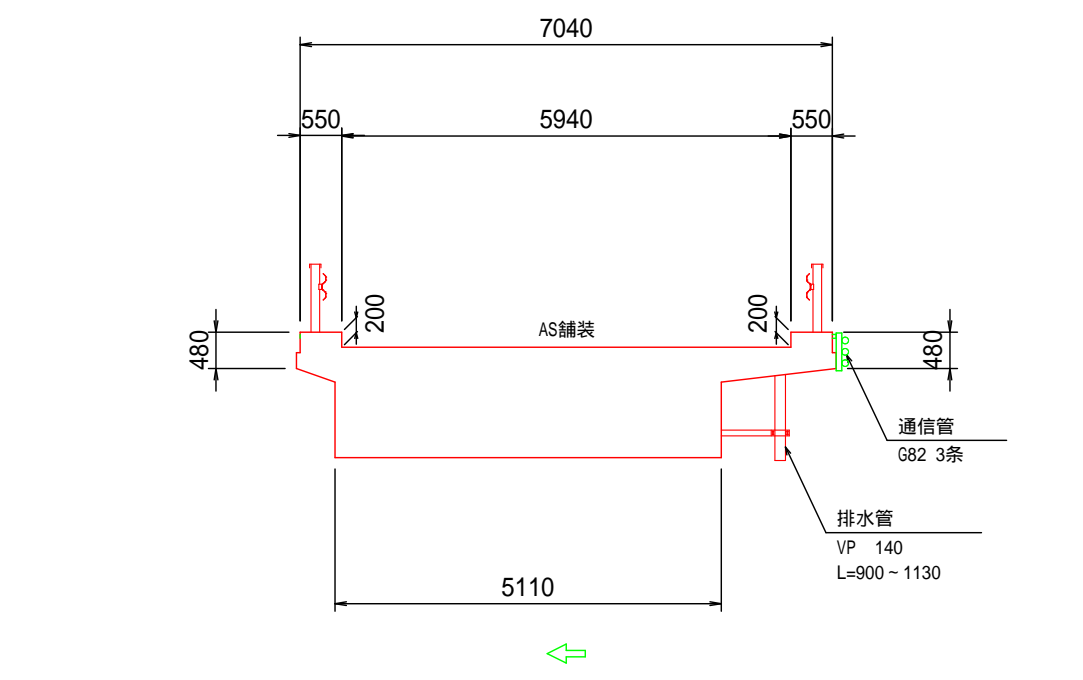
S=1:100

注)A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

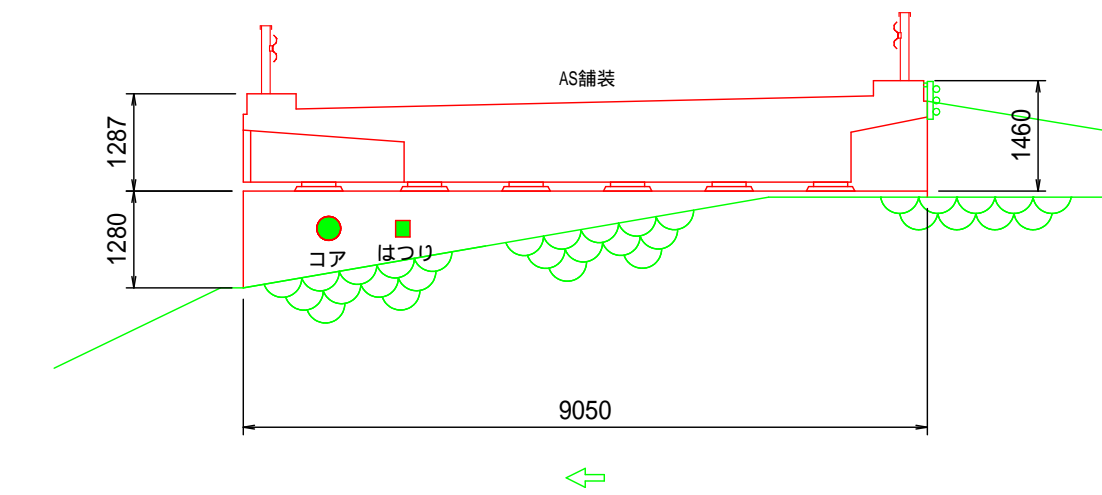
縦断面図



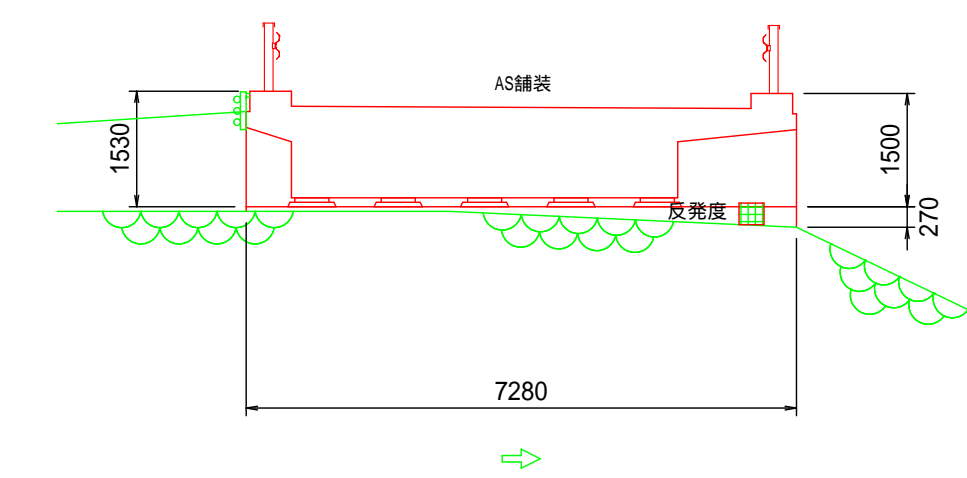
横断面図



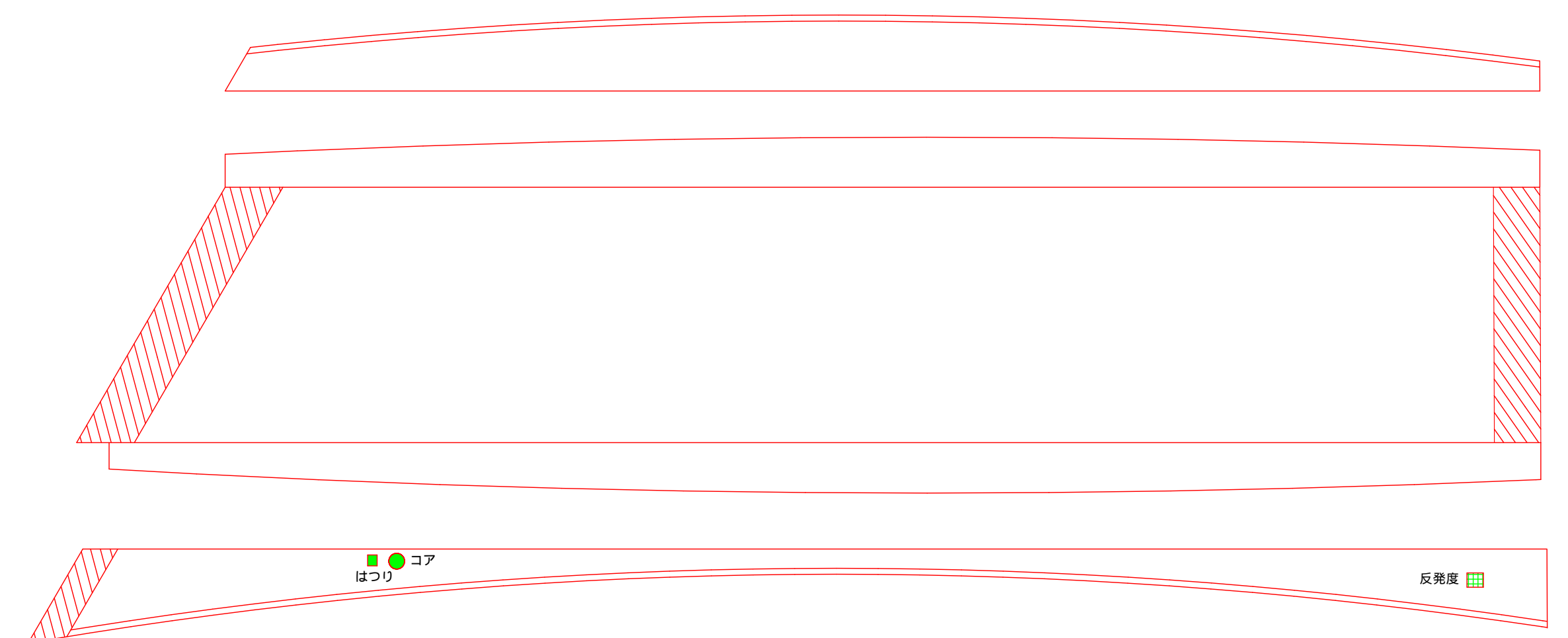
A1橋台



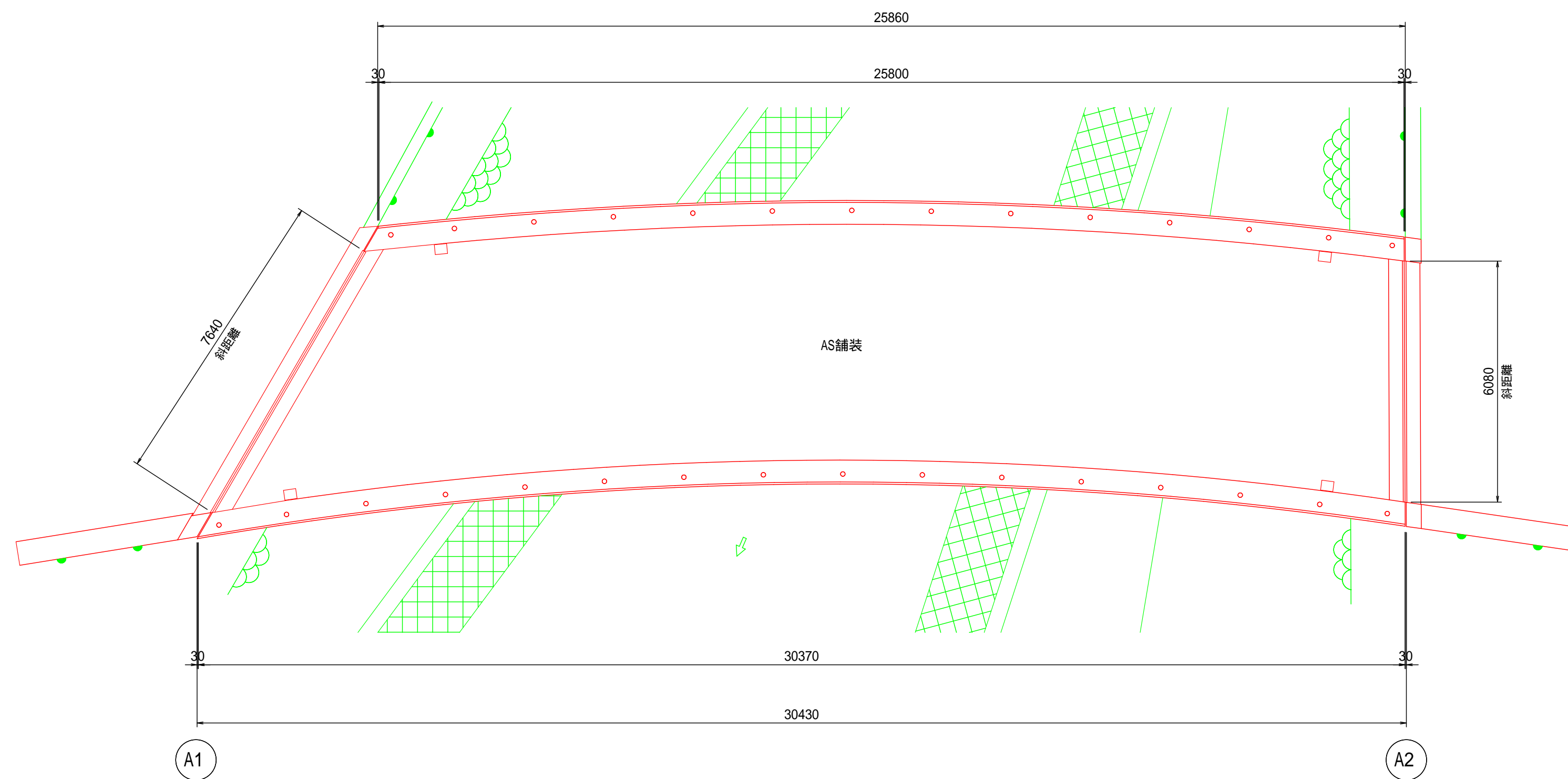
A2橋台



平面図(床版下面)



平面図(橋面)



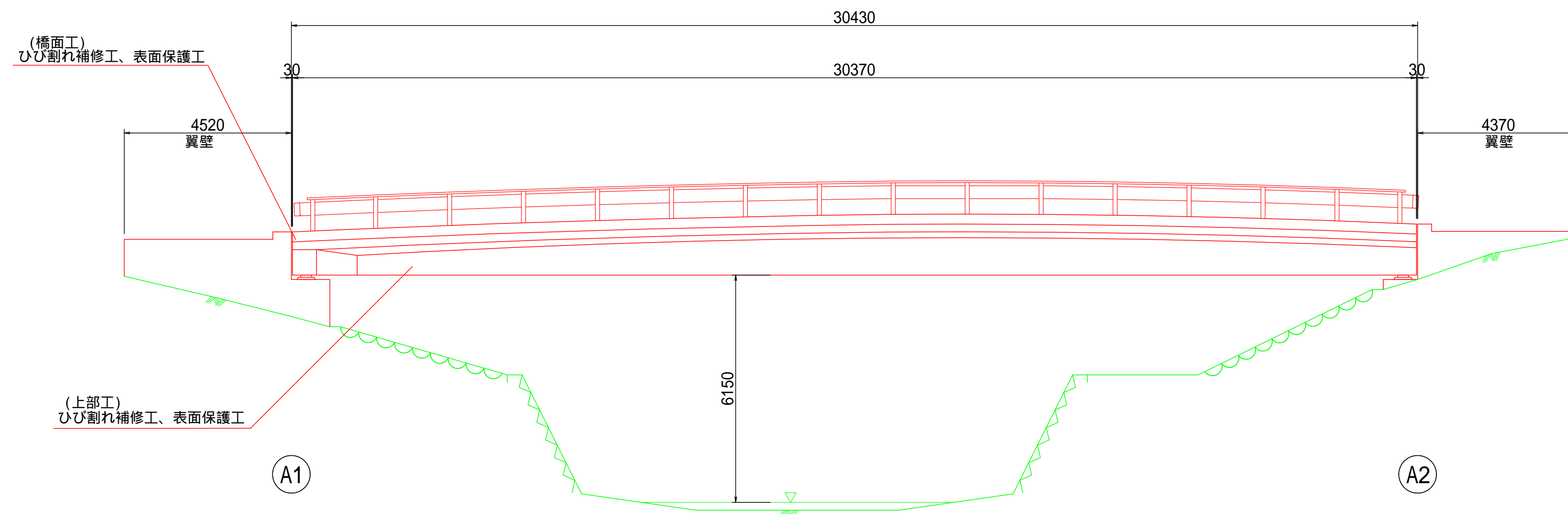
図面番号	2 / 4	縮尺	図示
工事名	鳴谷橋2補修工事		
種別	鳴谷橋2補修一般図	番号	/
路線名	市道芦田川右岸線		
工事箇所	府中市栗柄町		
<b>広島県府中市</b>			

# 鳴谷橋2 補修一般図

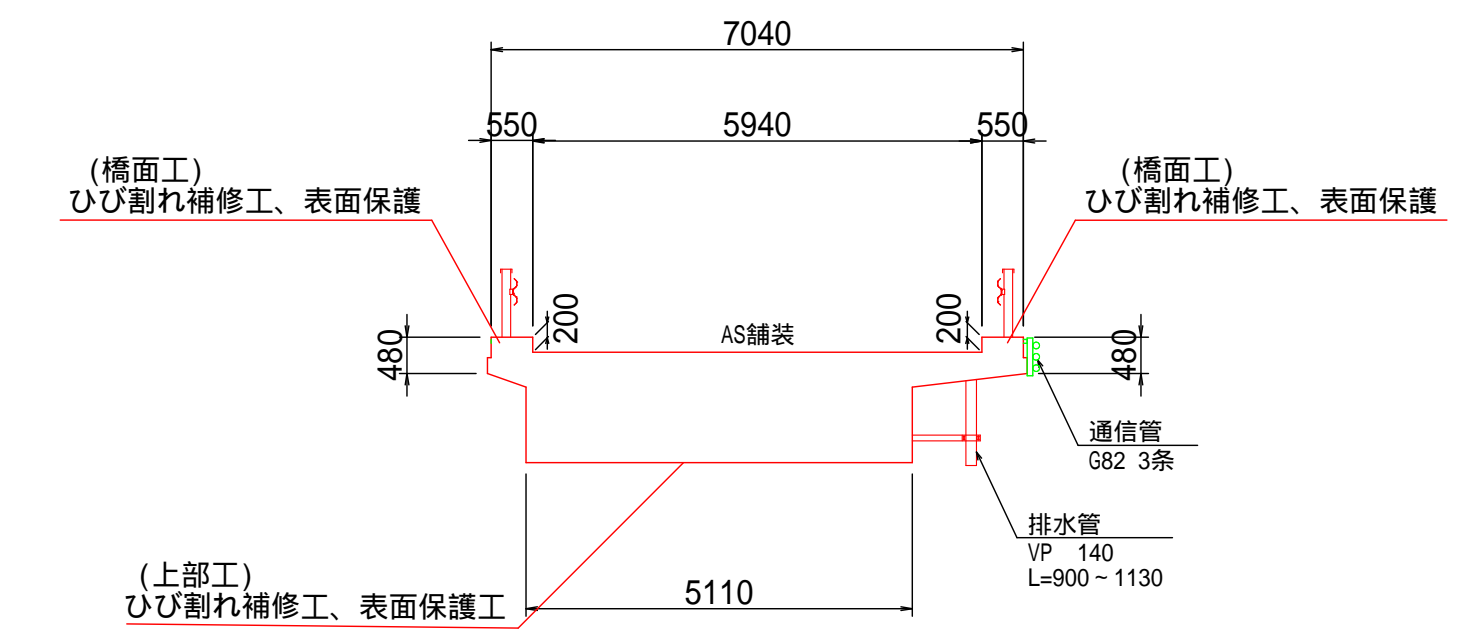
S=1:100

注)A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

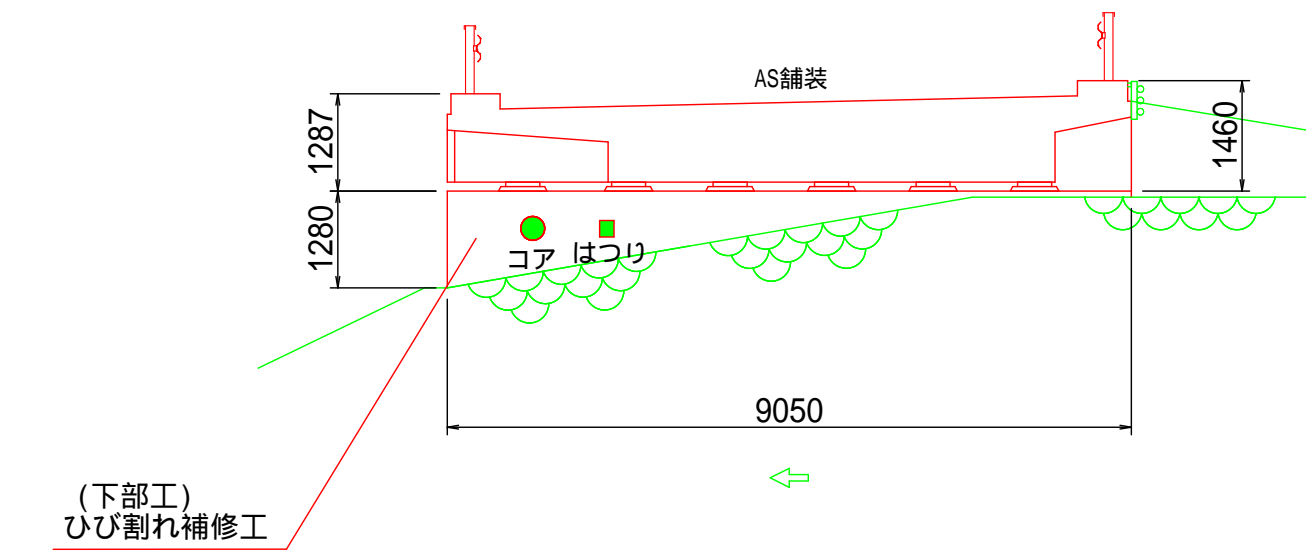
## 縦断面図



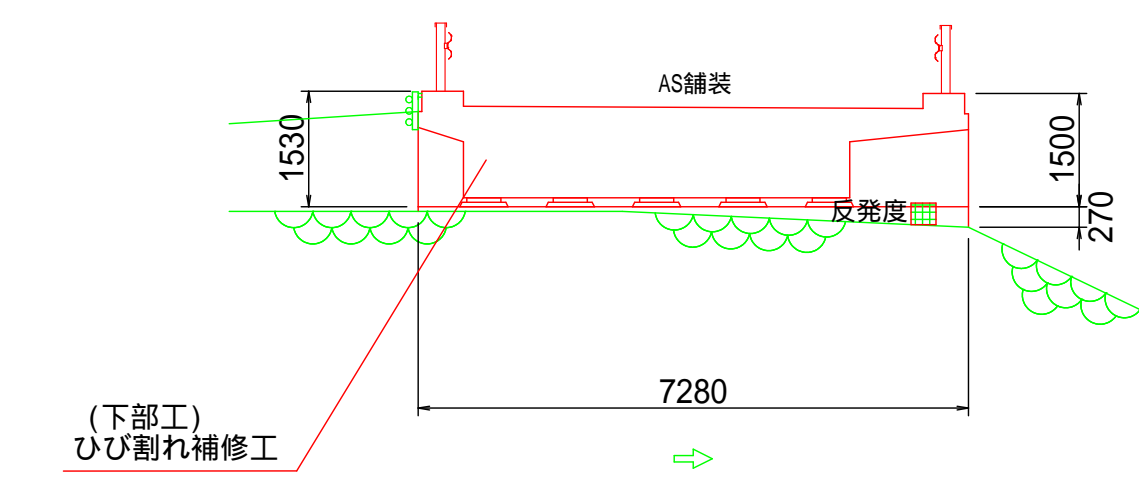
## 横断面図



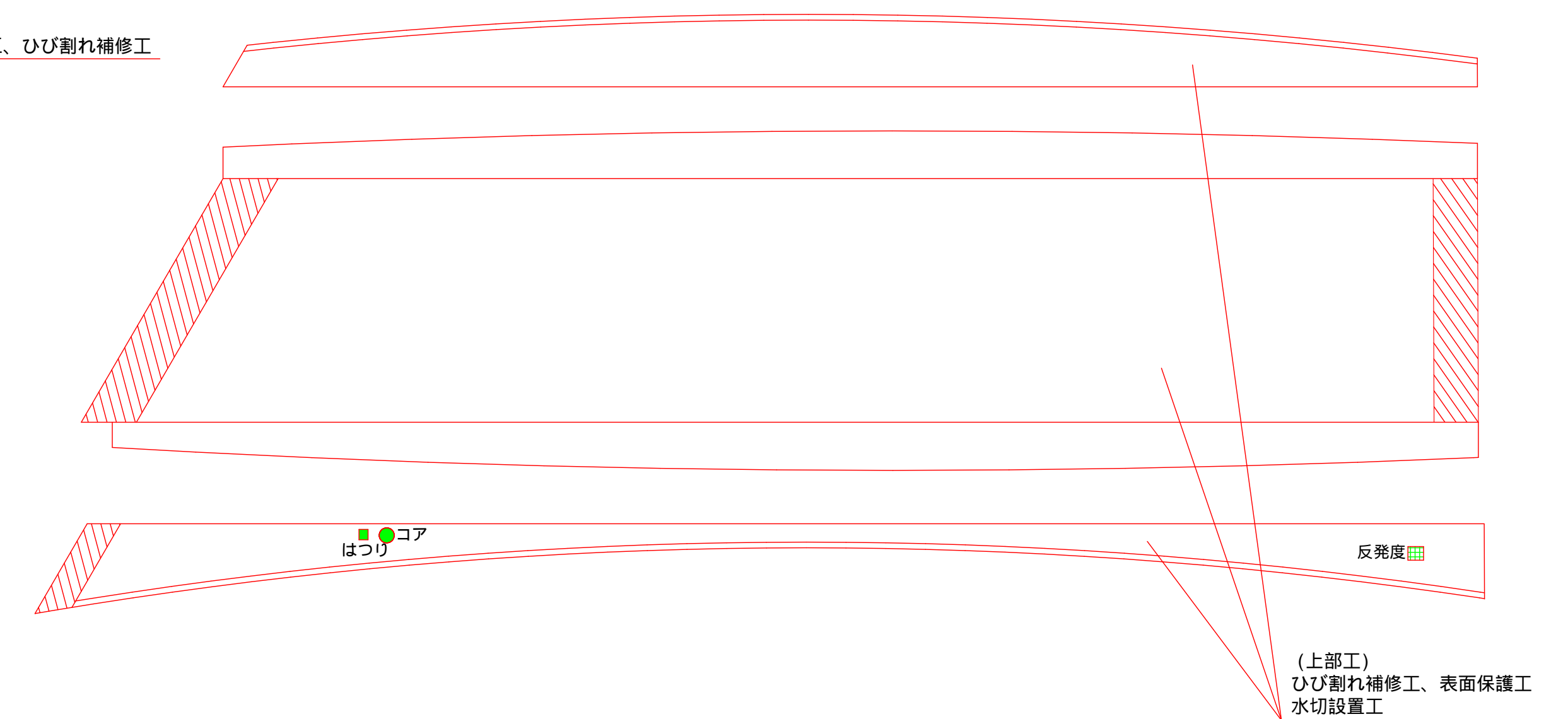
## A1橋台



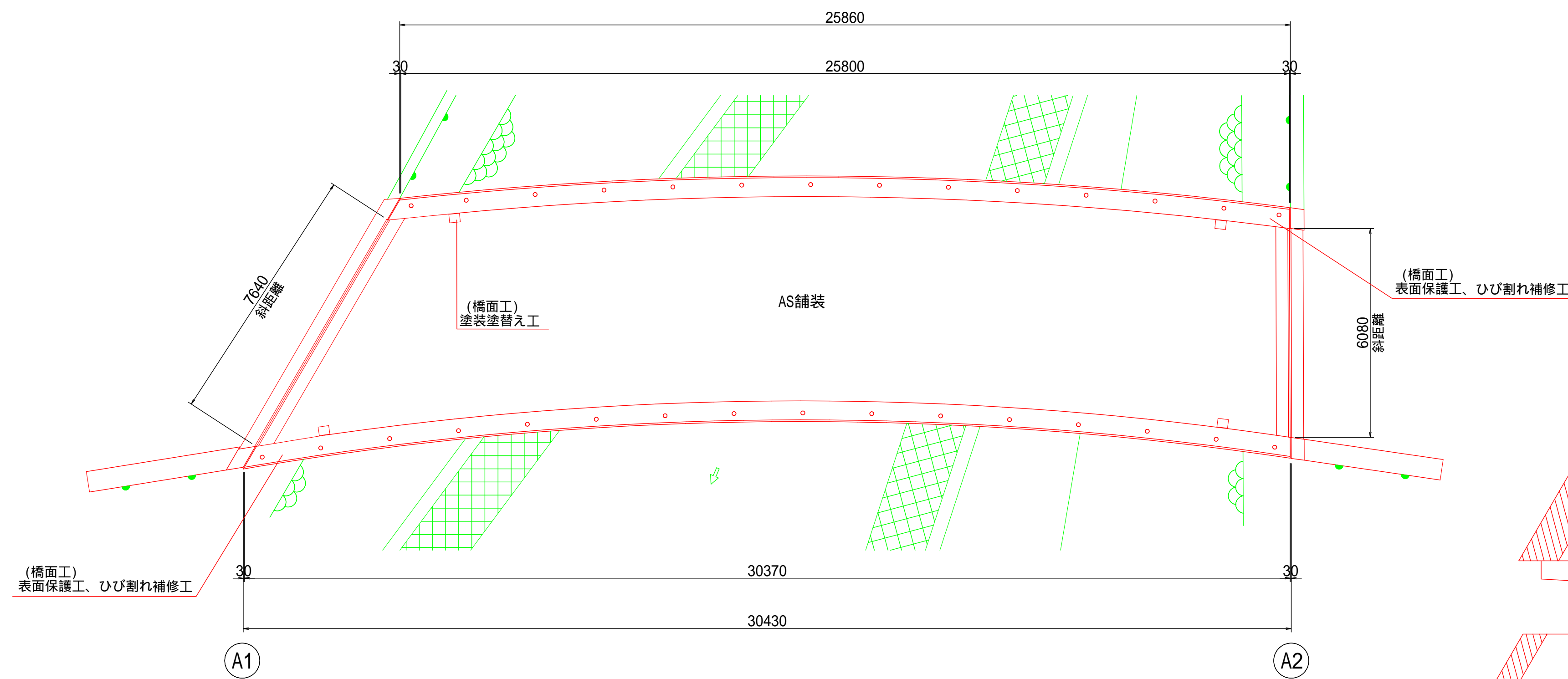
## A2橋台



## 平面図(床版下面)



## 平面図(橋面)





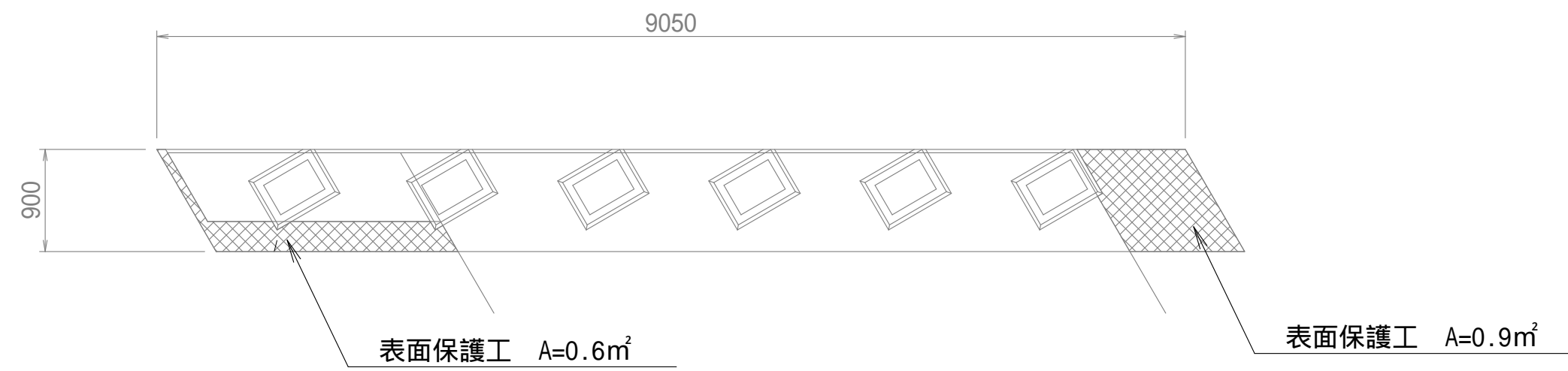
図面番号	4/4	縮尺	図示
工事名	鳴谷橋2補修工事		
種別	鳴谷橋2補修図(下部工)	番号	/
路線名	市道芦田川右岸線		
工事箇所	府中市栗柄町		
<b>広島県府中市</b>			

## 鳴谷橋2 補修図(下部工)

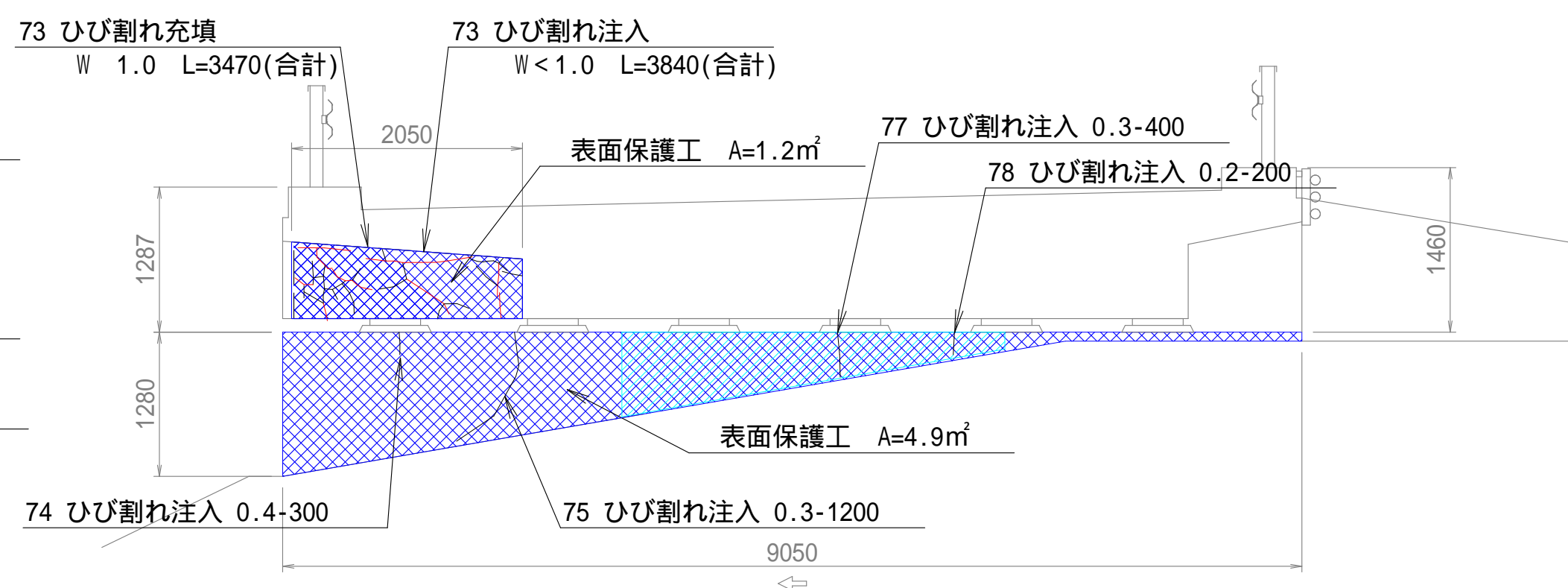
S=1:50

### A1橋台

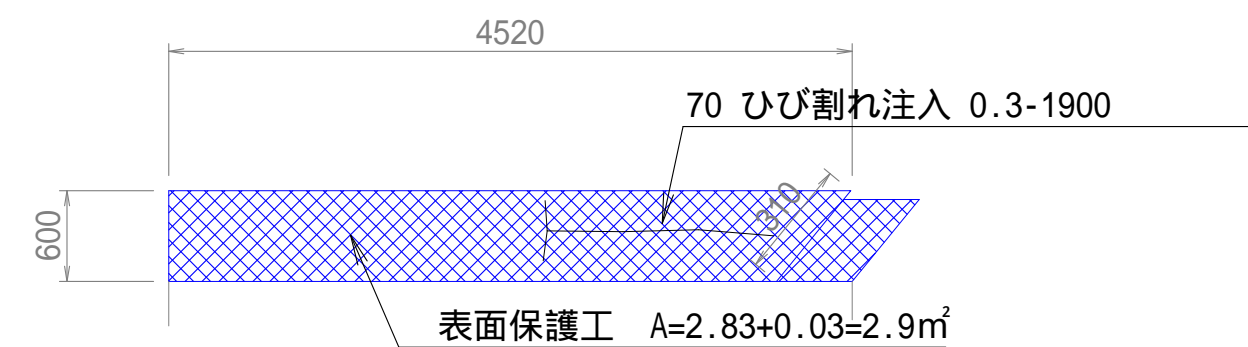
#### 平面図(沓座面)



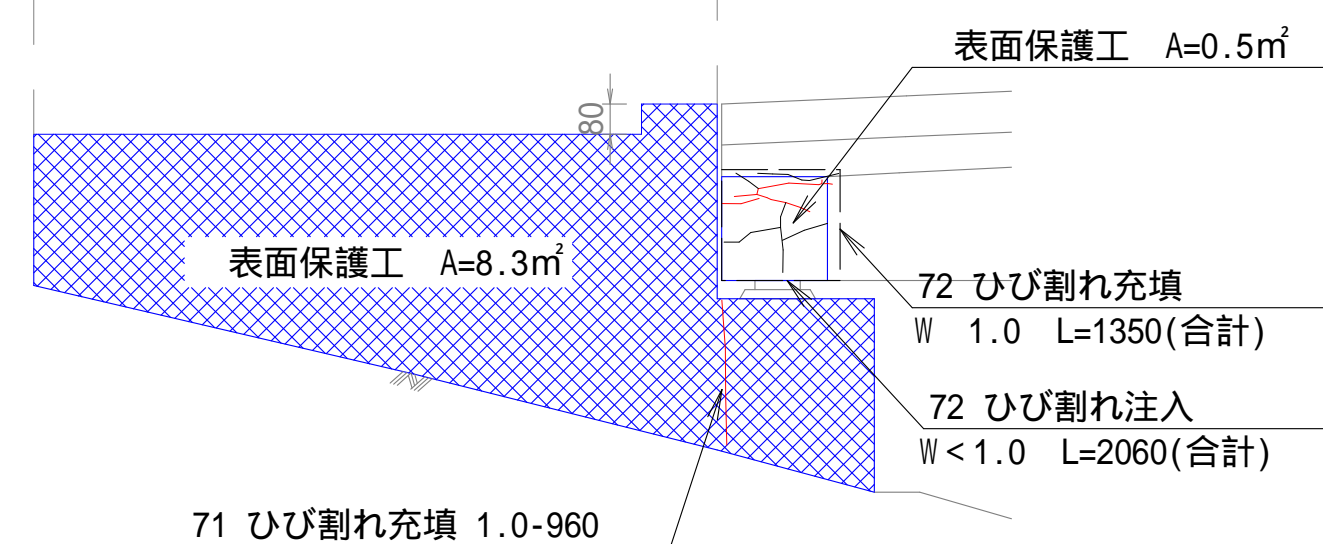
#### 正面図



#### 平面図

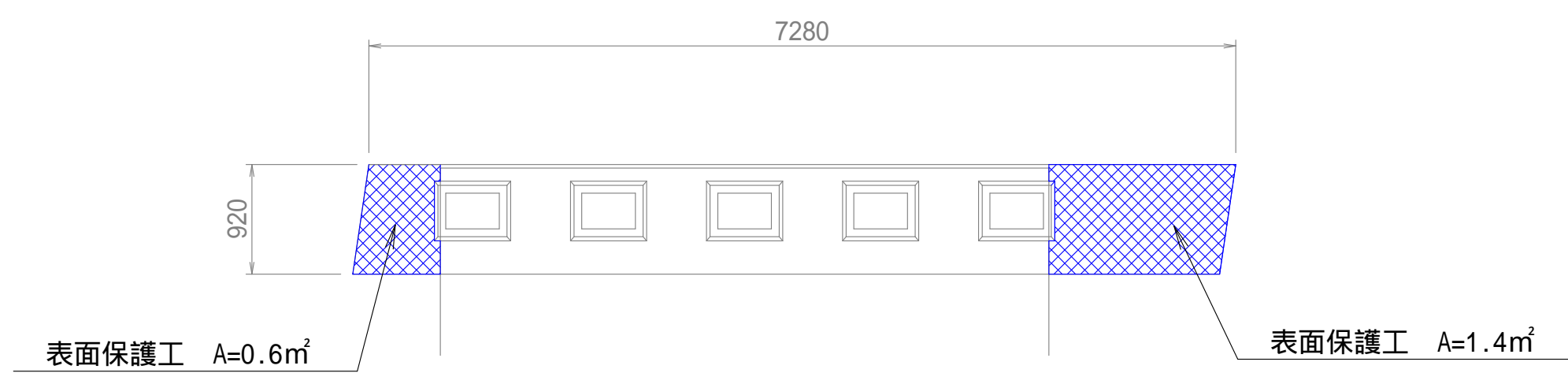


#### 側面図

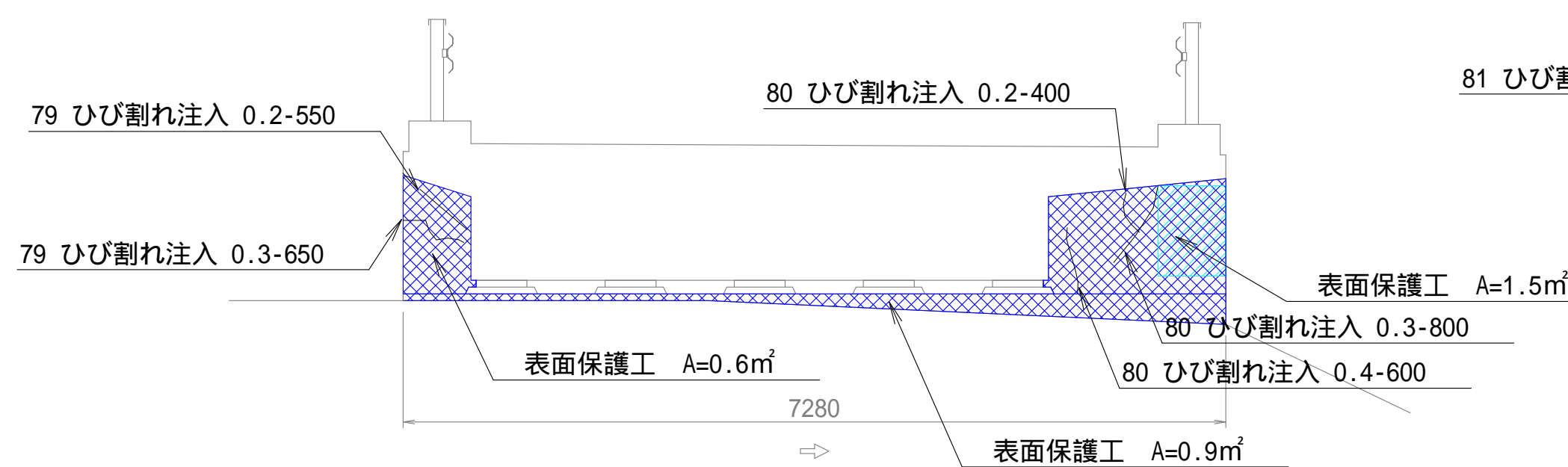


### A2橋台

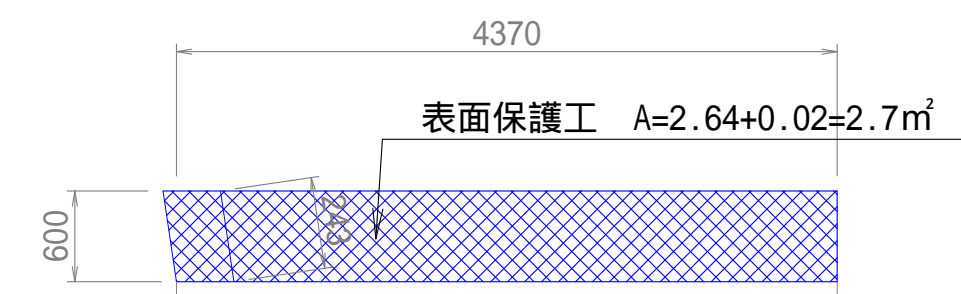
#### 平面図(沓座面)



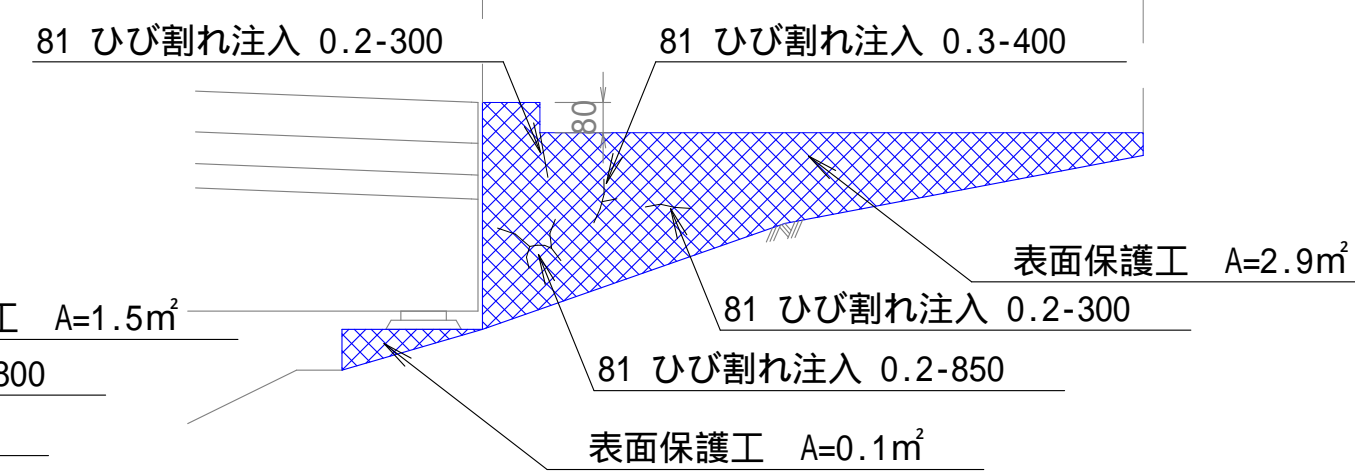
#### 正面図



#### 平面図



#### 側面図



凡 例	
記号	損傷種類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm ~ 1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm ~ 5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	うき
	剥離
	鉄筋露出
	欠損
	摩耗・浸食
	豆板
	析出物
	漏水・滞水
	腐食
	防食機能の劣化
	その他
1	真番号

注)A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

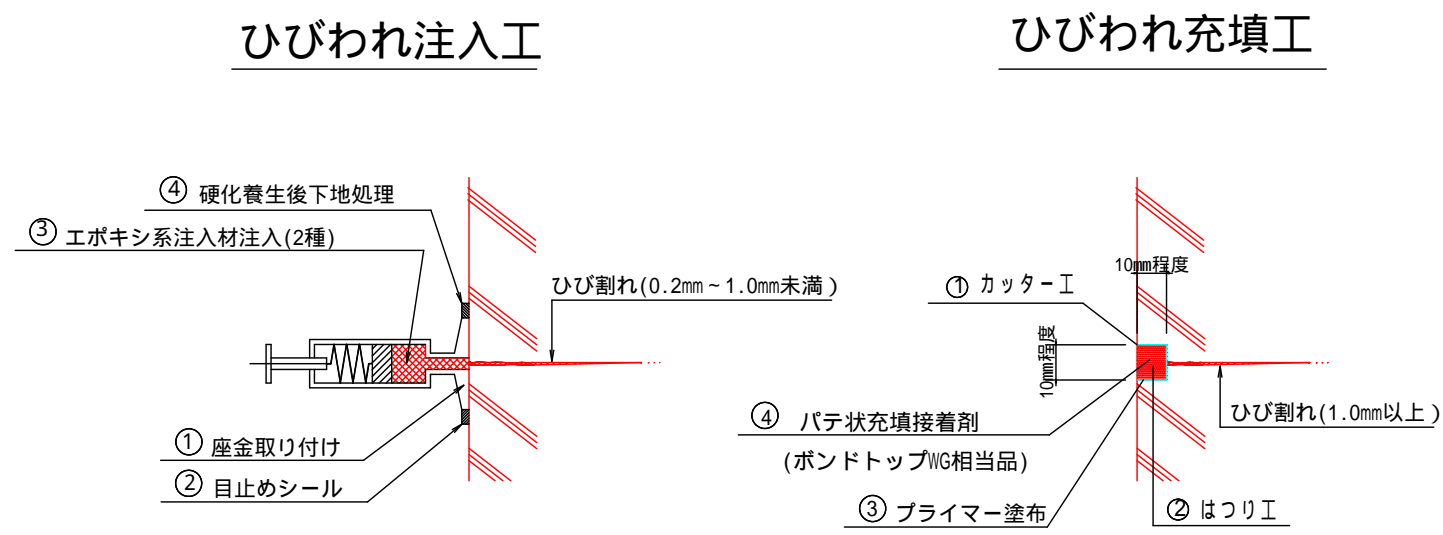
図面番号	1/2	縮尺	図示
工事名	鴨谷橋2補修工事		
種別	鴨谷橋2補修要領図	番号	/
路線名	市道芦田川右岸線		
工事箇所	府中市栗柄町		
<b>広島県府中市</b>			

注)A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

参考図

## 鴨谷橋2 補修要領図

### ひび割れ補修工



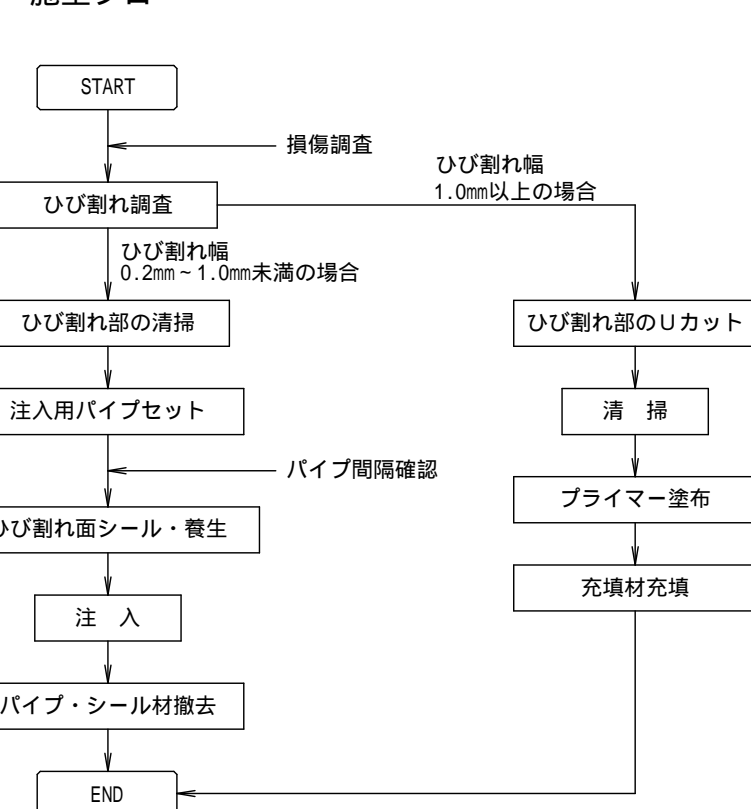
- 注) 1. ひび割れ注入工はひび割れ幅0.2mm - 1.0mm未満のひび割れに対して行うこと。  
 2. ひび割れ充填工は、ひび割れ幅1.0mm以上のひび割れに対して行うこと。  
 3. 施工箇所や延長については、施工時においてコンクリート表面を清掃したうえで再調査を行い決定すること。

#### ひび割れ注入材料品質規格

日本コンクリート工学会「コンクリートのひび割れ調査・補修補強設計指針2013」

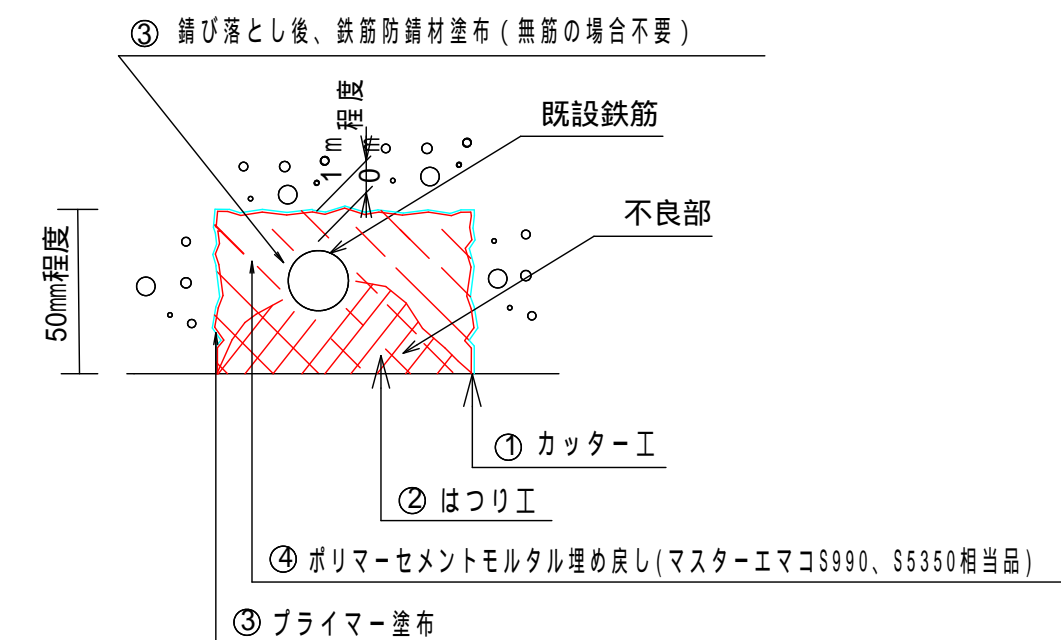
項目	単位	エポキシ樹脂注入材2種
ひび割れ幅	mm	0.2 - 5.0mm
粘度	Pa・S	4 ± 1
可使用時間	分	30以上
硬化時間	時間	16以内
硬化収縮	%	0.1以内
伸び率	%	50以上
モルタル付着強さ(乾燥面)	N/mm2	6以上
付着力耐久性保持率	%	60以上

#### 施工フロー



### 断面修復工

#### 左官工法



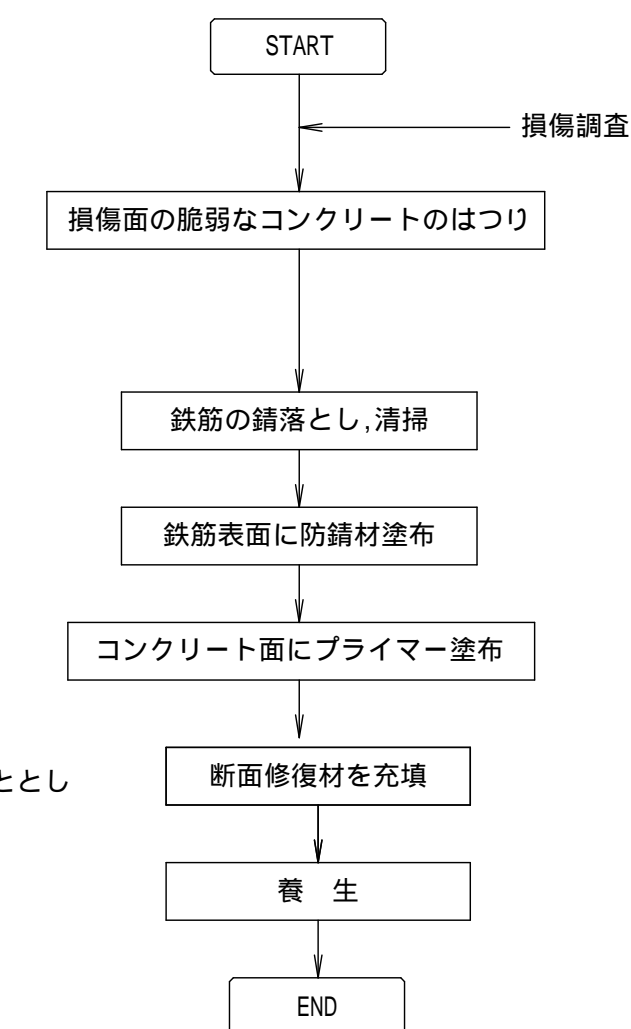
- 注) 1. 断面修復工は、欠損、うき、鉄筋露出及びジャンカが生じている箇所に対して行うこととし、施工箇所や範囲については、施工時において再調査のうえ決定すること。  
 2. 鉄筋の裏側まで十分にはつり出し、鉄筋の錆び落とし、清掃及び防錆材の塗布を行ったのちに、断面を修復すること。

#### 断面修復材の品質規格

試験項目	試験体の履歴条件	基準値	試験方法
硬化時間	-	断面修復材の硬化時間は1時間以上であること	JIS A1147
断面修復材の材料の外観(塗装無し)	湿冷繰り返し試験後	断面修復材は均一で、われ、はがれ、ぶくれのないこと	JIS A6909
硬化収縮性	-	断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること 硬化に伴う発熱により反りかえりが無いこと	JIS A1129-3
熱膨張性	硬化収縮試験後	断面修復材の熱膨張係数は $2.0 \times 10^{-5}$ 以下であること	JIS K6911
コンクリートとの付着性	湿潤時 耐アルカリ性試験後 湿冷繰り返し試験後	コンクリートと断面修復材との付着強度は、1.5N/mm2以上であること	JIS A6909
塗装塗膜との付着性	湿冷繰り返し試験後	塗膜と断面修復材との付着強度は、1.0N/mm2以上であること	JIS A1108
圧縮強度	-	強度(24N/mm2)以上であること	JIS A1108
流動性*	-	使用する材料の規格値以内	JSCC-F541-2010

\* 流動性は、注入工法で使用する材料に適用する(J14漏斗流下時間)。

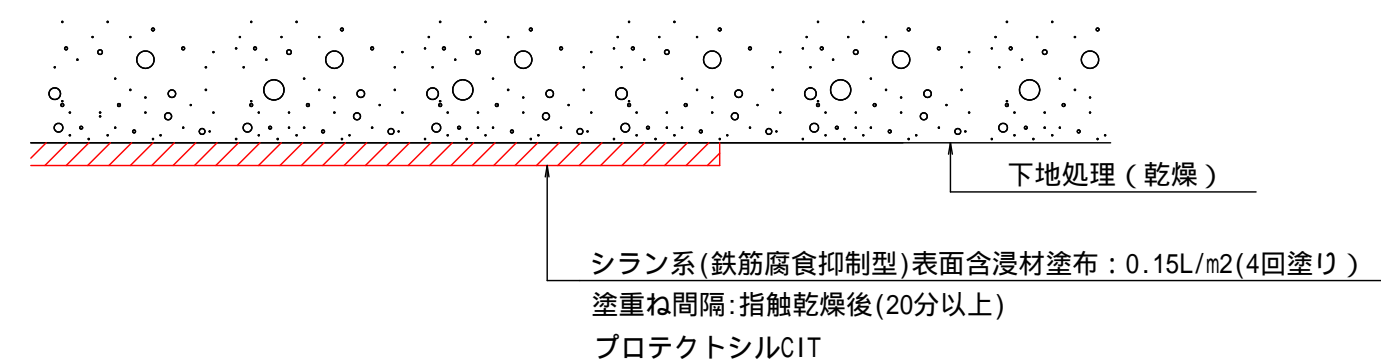
#### 施工フロー



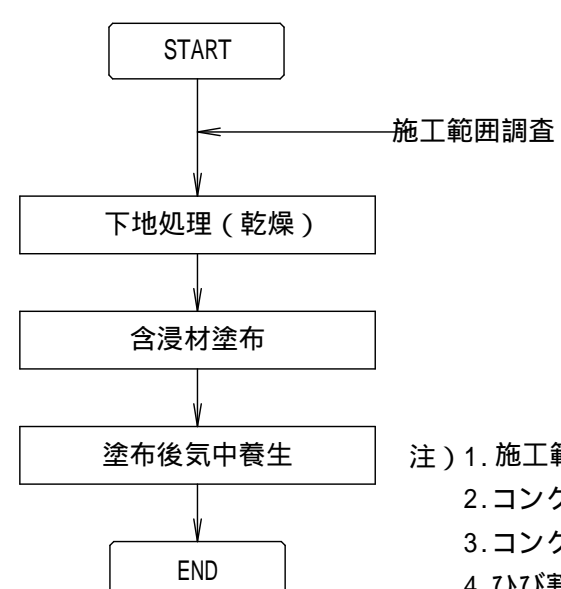
#### 鉄筋防錆材の品質規格

試験項目	試験項目	基準値
防錆性	防錆試験	防錆率50%以上
	処理部	防錆率10%以上
鉄筋との付着性	鉄筋に対する付着強さ	7.8N/mm2 以上
コンクリートとの付着性	耐アルカリ性	塗膜に異常が認められないこと

### 表面保護工(シラン系表面含浸材塗布工)



#### 施工フロー



- 注) 1. 施工範囲については、施工時において再調査のうえ決定すること。  
 2. コンクリートが乾燥状態であることを確認し、塗布すること。  
 3. コンクリート面の剥離紙を撤去後に施工すること。  
 4. ひび割れ注入、断面修復後に施工すること。  
 5. 施工面は乾燥面とする(表面水率8%以下)。

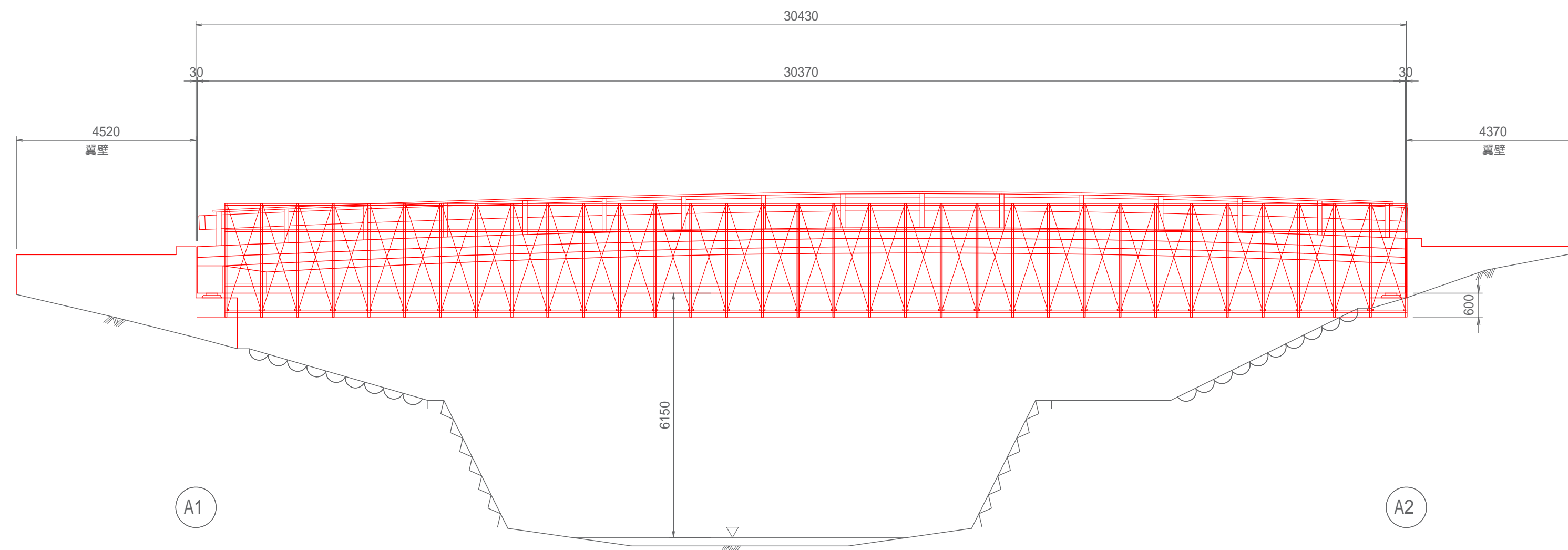
図面番号	2 / 2	縮尺	図示
工事名	鳴谷橋2補修工事		
種別	鳴谷橋2 仮設図(参考図)	番号	/
路線名	市道芦田川右岸線		
工事箇所	府中市栗柄町		
広島県府中市			

# 鳴谷橋2 仮設図

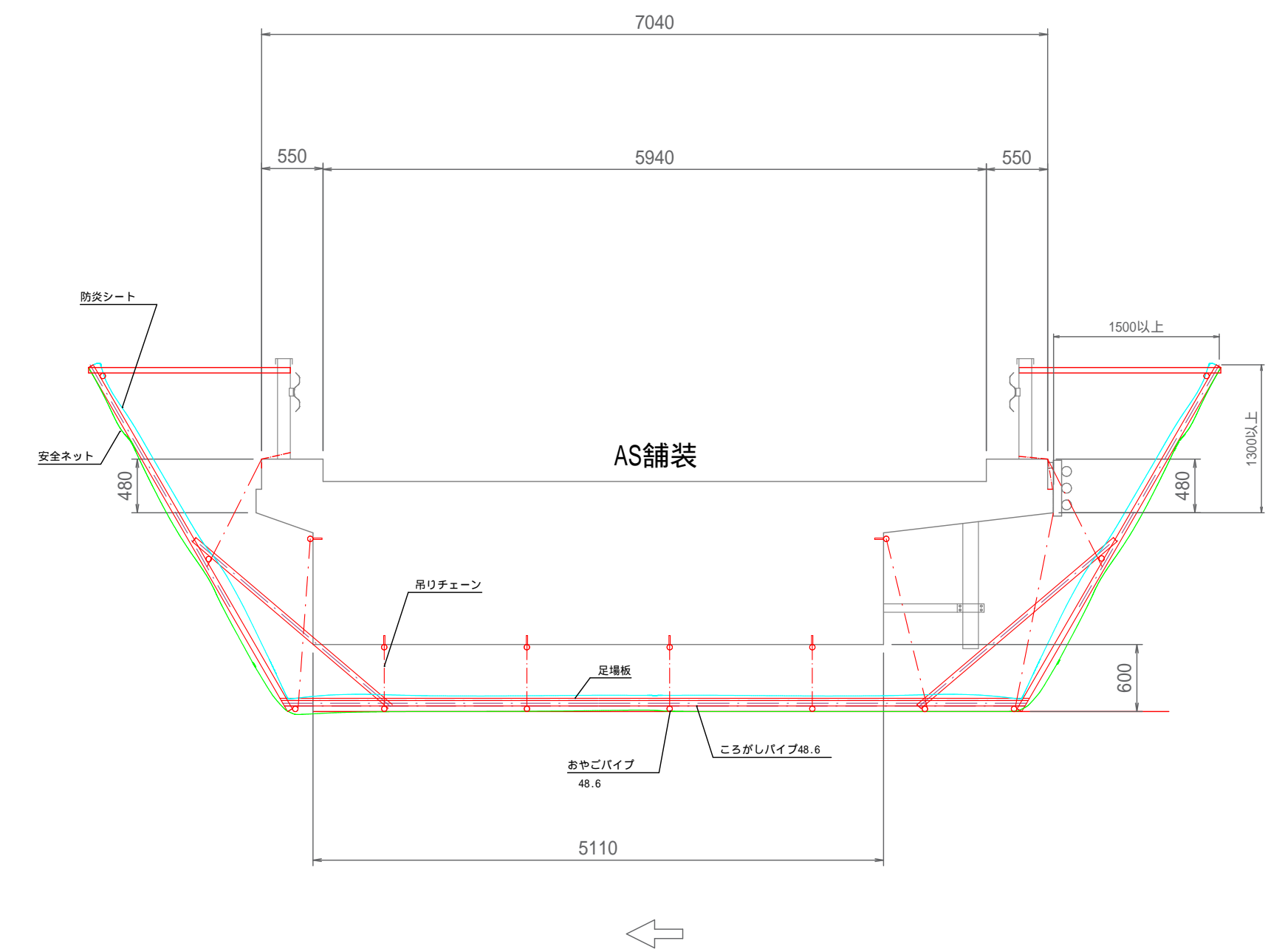
S=1:100

注)A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。  
参考図

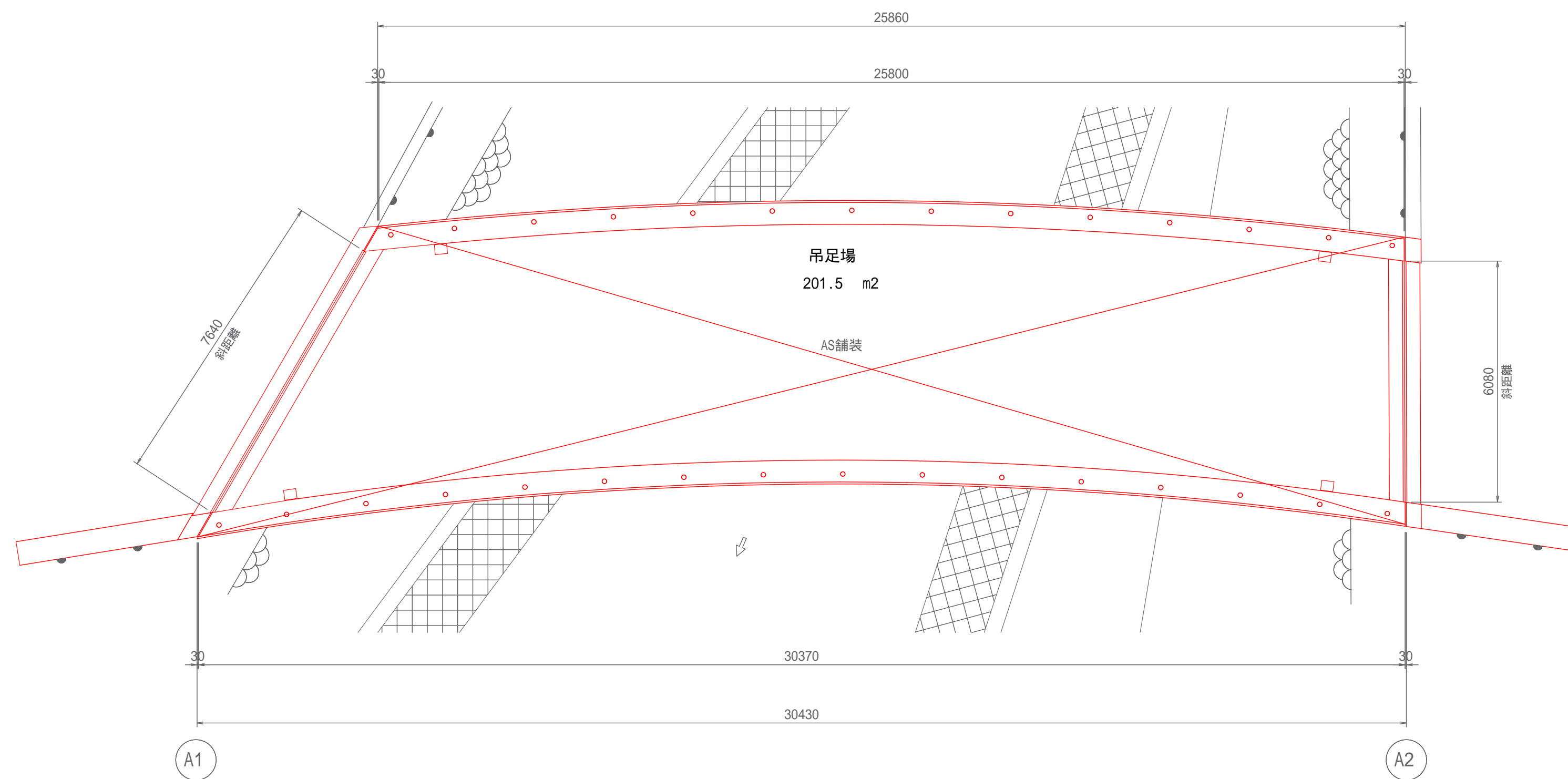
縦断面図



標準断面図 S=1:50



平面図



吊足場 数量表

名称	計算式	面積
吊足場	CAD計測	201.5 m2